

平成28年度第1回長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会発言内容

事務局長	<p>只今から平成28年度第3回長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会を開催いたします。</p> <p>2名の委員の方がまだいらしてませんが、定刻を過ぎておりますので、会議を始めさせていただきます。</p> <p>議事に入ります前に委嘱状の交付をさせていただきます。4月の人事異動等により委員が代わっております。委嘱状は机の上に置かせていただいております。</p>
【新任委員挨拶】	
事務局長	<p>ありがとうございました。それでは議事に入ります前に竹本会長よりご挨拶をお願いします。</p>
【会長挨拶】	
事務局長	<p>それでは、会議に入ります前に本日の会議の成立について、申し上げます。配席図におきまして、欠席委員が4名ございますが、本協議会設置規約第7条により、代理の方の出席を含め、過半数の出席があるということで、本日の協議会が成立することをご報告いたします。</p> <p>この会議の進行につきましては、本協議会設置規約に基づき会長が行うこととしておりますので、竹本会長よりよろしくお願いいいたします。</p>
会長	<p>それでは議事に入ります。まずはきんぎょタクシーの運行状況について事務局より説明をお願いします。</p>
【きんぎょタクシーの運行状況について（資料1） 説明】	
会長	<p>只今、事務局から運行状況について説明がありましたけれども質問、確認事項等ございますか。</p>
委員	<p>お断り件数についてですが、断られたお客様はどうやって目的地に行っているのでしょうか。追跡調査のようなことはされているのでしょうか。</p>
事務局	<p>別便に乗るか、タクシーで移動されるか、家族等の送迎、あるいは外出を控えられるかだと思えます。内容については詳しく聞き取りはしておりませんが、そのような対応となっております。</p>
委員	<p>産交バスなどの幹線バスに乗り換えるという方はいらっしゃらないでしょうか。</p>
事務局	<p>乗り換える方もいらっしゃいます。</p>
委員	<p>長洲町内と荒尾方面だとお断り件数はどちらのほうが多いですか。</p>
事務局	<p>荒尾市民病院ですとか、シティーモールが比較的多くなっております。移動距離・時間の長さを考えるとそのようになります。</p>
委員	<p>病院は予約時間が決まっているので断られたらタクシーなどで行くようにしています。</p>

委員	補足的な質問ですが、予約を順番に入れていって、いっぱいになったら断るというスタンスでしょ。そうするとどこに行くから断るとかじゃなくて単純にいっぱいだから断るだけですよ。荒尾行きを断るのは事実だと思うけど、それは全体として荒尾へ行く人が多いというだけですよ。
事務局	そういった考え方もございます。また、荒尾行きをお断りしても、同じ便で長洲町内であれば乗れるという場合もあります。時間ロスも少なくルート上であれば乗れるケースがあるからです。お断りは出たけど席は空いているということもあります。
会長	それでは、次第4の協議に入ります。議案第1号平成27年度長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会決算報告について事務局より説明をお願いします。
【議案第1号（資料2） 説明】	
会長	収支決算につきまして、監査をいただきましたので監査委員から監査報告をお願いします。
【長洲町建設課長（監査委員）より監査報告】	
会長	只今監査報告がありましたが、これに関して質問等ございませんでしょうか。ないようですので、拍手をもって承認をお願いいたします。
【承認】	
会長	続いて議案第2号に入ります。きんぎょタクシー増車に伴う長洲町予約型乗合タクシー運行事業実施要綱の一部改正について事務局より説明をお願いします。
【議案第2号（資料3） 説明】	
会長	説明に対しまして、このようにしたらもっとよくなるのではないかと等の忌憚のないご意見をお願いいたします。
委員	増車によってお断り件数はどの程度まで減っていく見込みでしょうか。
事務局	ほぼゼロになると考えております。現在のお断り件数は1日平均4.9人となっておりますので、1台増車によって解消できると考えております。また、そのほかにも乗車数を伸ばすことができるとも考えております。
委員	結局今回増やす12時便については、11時から13時がお断り件数が多かったからだという事ですか。
事務局	運行状況の資料のとおり11時便、13時便が多いです。利用者からの声を聴きますと、午前中病院に行くとか12時頃に診察が終わることも多いそうです。そうしますと、前後の便に予約が集中して結果的にお断りということになっておりました。それを踏まえて12時便を運行することによってこの問題を改善する見込みです。
委員	増車はジャンボタクシーじゃないとダメなんですかね。タクシー車両でも運行可能ですよね。その併用での運行は考えてなかったのですか。
事務局	利用者の乗り降りのしやすさもありますが、事務局としては経費の問題もあります。運行につきましては、委託料の不足分を町が出しております。また、運行開始当初は2

	<p>台で1万人を目標としておりましたが、現在は1万5千人の利用があります。今後も高齢化社会の中で利用者は増えると考えられます。そのような今後のニーズも加味してジャンボタクシーでの導入を決定したところであります。</p>
委員	<p>費用はどのくらい上がると試算されているのですか。</p>
事務局	<p>前回の会議で示させていただきましたが、1台について年間で5百万近く町で拠出しています。2台で約1千万円となりますが、そのうち利用者収入が約370万、国・県の交付金等も充てさせていただいて、残りを町の負担となっております。増車後につきましては利用者収入が約5百万、拠出が3台で1千5百万となると考えております。</p>
委員	<p>その1千5百万円は、フィーダー系統でいう長洲町の財政負担は1千5百万円を上限とするという額の範囲内ということですか。</p>
事務局	<p>はい。当然、この運行経費以外にシステム代、オペレーターの人件費等も年間5百万程度かかっておりますのでトータルでは概算2千万円かかります。利用者収入が5百万円見込めるため、1千5百万円での支出に抑えられるという見込みです。</p>
会長	<p>その他に質問はないでしょうか。 利用者代表でもある委員いかがでしょうか。</p>
委員	<p>この案で断られる回数は減ってくるかなと思います。</p>
委員	<p>この案でとてもいいと思います。12時便についても荒尾市民病院なんかで急ぐ必要もなくなるので助かります。</p>
委員	<p>地元のタクシー業者への影響についてはどのように考えていますか。</p>
事務局	<p>今回の増車にあたって地元業者3社にヒアリング等をし、概ね了承いただきました。ただ、新幸タクシーにつきましては、タクシー補助を充実させてはどうかという意見もありました。町としても検討はしております。有明観光タクシーに関しましては、土日の運行、玉名方面への運行については納得できないが、増便については利用者が望んでいるのであれば仕方ないとのことでした。</p>
委員	<p>お断り分にタクシー補助券を配るとなると、タクシー会社は大変だと思う。</p>
委員	<p>昨年も意見があったと思いますが、30分間隔での運行は検討しなかったのでしょうか。</p>
事務局	<p>検討しましたが、配車等のシステムの都合上運行が難しいため、1時間間隔の運行を選択しました。</p>
委員	<p>乗合タクシーはそもそも長洲町内をエリアとするものとするが、荒尾まで運行することによる町内の商工業者への影響はどのように考えていますか。</p>
会長	<p>私的な意見も入りますが、長洲と荒尾は昔から同じ生活圈なんですよ。医療機関ですとか商業施設ですとか、長洲の方は荒尾を使われます。逆に荒尾から長洲の工場関係に通勤される方もたくさんいらっしゃいます。</p>
委員	<p>経済圏、生活圈は一緒ですね。</p>

事務局	きんぎょタクシーの荒尾への運行につきましては、長洲・荒尾環状線バス路線の代替手段としている面もあります。また、バス路線ではカバーできていなかった交通空白地帯の問題も改善されました。
委員	荒尾の事業者は協議会委員に入っていないませんが、荒尾のタクシー事業者の意見等は聞いていますか。
事務局	荒尾タクシー協会の山城会長にも相談しつつ、了承を得て運行を実現させております。当初はバスの代替手段での取り組みでしたので、荒尾市、道路管理者に委員になっていただいた経緯があります。事業者につきましては、当初も報告はいたしましたし、今回もするつもりです。
会長	それでは、第2号議案承認していただけるようでしたら拍手をもって承認をお願いします。
【承認】	
会長	続きまして第3号議案、長洲・荒尾地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について事務局から説明をお願いします。
【議案第3号（資料4） 説明】	
会長	ありがとうございました。ご質問ありましたらお願いいたします。
委員	システムのイメージ図について産交バスさんにお尋ねですが、これは幹線の補助はもらっているんですか。
委員	赤い線の桜山経由玉名市役所・荒尾線はもらっています。黒い線は市町村補助が入っています。
事務局	黒い線は、長洲町・荒尾市・玉名市の2市1町で補助しています。
委員	荒尾警察署周辺が接続地点になっていますが、圧倒的に他の利用場所が多いのにここにつないでいるのかわからなかったもので、これが本当の乗り換え拠点なのかなと少し思いました。
事務局	運輸支局に相談しながらこのような内容としてきておりますので、今後ご相談させていただきながらフィーダーイメージについても協議させていただこうと思っております。
委員	せっかくですのでお尋ねします。501号線の産交バスは1日3往復ということですが、208号線はどのくらい走っているのですか。
委員	毎時運行しています。
委員	このきんぎょタクシーが始まる前のバスは1日1～2往復でしたよね。そうすると使えないんですよ。それこそ乗って行ったら帰れない、3往復でも使えないと思います。毎時だと年金生活者の方は使えるかもしれないけど日常生活には全然使えません。だからそれを基準にフィーダーっていうのは大前提が生活実感に合わない気がします。
事務局	委員には協議会発足当初から委員として入っていただいております。バスについては

	<p>時間帯の工夫はされております。朝9時台、午後3時台というなかでも利用者はいます。ただ、委員がお住いの向野区などにつきましては、バスが走らない空白地帯であります。過去には循環バスを回しておりましたが、少し外れれば1キロ近く歩かなければならないような状況という経緯も含めてきんぎょタクシーを導入させていただきました。導入にあたっては公民館、老人会等の集まりなどあらゆるところから声を集めた結果が利用者の増加に寄与していると考えます。実態にそぐわないとの声もあるかと思いますが、町民の声を聞きながら今後もやっていきたいと思っております。</p>
会 長	<p>公共交通は広く利便性を提供しなければなりません、バス路線で全てを賄うのは難しいですね。ほかにありませんでしょうか。色々ご意見ありますが皆さんの声を参考にさせていただきながらこの計画を進めていきたいと思っております。第3号議案承認いただけましたら拍手をお願いします。</p>
【承認】	
会 長	<p>ありがとうございました。その他についてなにかございますか。</p>
委 員	<p>最初からいる委員は私くらいだと思いますが、それなりに好評をいただきながら5年を経過しようとしていると思います。そろそろ抜本的な改善策を検討する必要があるのかなと思います。お断りの解消のために増車をすること自体は適正だと思います。ただそのほかにも必要だと思います。商店街とのリンクについては割と初期から問題提起されていたように思うのですがそんなに改善されてないように感じます。当初描いていたものを拾い上げながら中長期的に取り組む必要があるのかなと思います。</p>
会 長	<p>ご指摘ありがとうございます。事務局、しっかりと肝に銘じてよろしく申し上げます。せっかくの協議会でございますので、委員の皆さまから一言ずつお願いします。</p>
【各委員より一言】	
会 長	<p>ありがとうございました。貴重な意見をたくさんいただきました。今後ともご協力の程よろしくお願いいいたします。それでは協議会をこれで終わります。</p>